

令和5年12月1日

八戸市長 熊谷雄一様

八戸駅西地区駅前保留地売却先選定
プロポーザル審査委員会
委員長 武山 泰

八戸駅西地区駅前保留地売却先選定プロポーザル審査委員会 審査結果報告書

1. プロポーザル実施の経緯

- 令和5年 7月25日：第3回審査委員会を実施し、令和5年度の募集要項を審議
令和5年 8月21日：募集要項を公表
令和5年 9月13日：参加表明書を受付（1者（トヨタカローラ八戸株式会社）のみ）
令和5年10月25日：提案書など応募書類一式を受付
令和5年11月16日：第4回審査委員会において提案者からのプレゼンテーションを受け
ヒアリングを実施のうえ提案内容を審査し、次のような評価をした。

提案者名	トヨタカローラ八戸株式会社
提案書による評点（満点100点）	63点
価格による評点（満点50点）	50点
合計評点（満点150点）	113点

2. 提案内容

HACHINOHE WEST SPORTS GATE PARK

スマートスポーツシティで彩られた街をめざして

- ・フィットネス、3×3バスケット・交流広場等を計画し、スポーツを通じて人を育てる街づくりに貢献、シンボルロードを含めた交流促進に付与し、子供達にも自由に利用してもらい将来のスポーツ選手育成に貢献できるような施設として計画、また、駅を利用している通勤、通学、周辺の住民の健康増進、交流の場、気軽に利用できるフィットネスクラブの計画

3. 審査結果

トヨタカローラ八戸株式会社を保留地購入における随意契約の優先交渉者とする。

4. 講評

提案内容は、フィットネスクラブを核に据えた複数のスポーツ機能や交流広場を有する複合的な施設であり、八戸駅西地区まちづくり計画「スマート・スポーツシティ」の理念に沿っており、先行するフラット八戸などの民間施設との連携も期待できる優れた内容であった。商業機能や地域との連携については少々物足りなさも感じたが、これらについて踏み込んだ提案であればさらに高得点になったと思われる。

提案者は、八戸市のみならず広域においてしっかりした経営基盤を持つ優良企業であることから提案の実現性は高いと考えられることもあり、保留地購入の優先交渉者にふさわしいという判断となった。

提案者からのプレゼンテーション及びヒアリングによる話からは、施設の運営実績等によっては計画内容を拡張していく可能性も感じたので、今後の八戸駅西地区全体としての更なる活性化を期待したい。